

北九州市立大学 地域戦略研究所 NewsLetter

[発行]

公立大学法人

北九州市立大学 地域戦略研究所

〒802-8577 北九州市小倉南区北方 4-2-1

Tel: 093-964-4302

Fax: 093-964-4300

chiikiken@kitakyu-u.ac.jp

http://www.kitakyu-u.ac.jp/iurps/

2015年度の研究成果の報告会を開催し、約160人に御参加いただきました！

地域戦略研究所 研究報告会

本研究所では、北九州地域が抱える多様な課題やこれからのまちづくりのあり方について学術的な視点から調査研究を実施しています。2015年度の研究成果について、2016年5月13日（金）午後1時に本学小倉サテライトキャンパス（アミュプラザ小倉7F）で研究報告会を開催し、生活交通、女性活躍、北九州市財政、ギラヴァンツ、障害者レクリエーション&スポーツの5テーマの報告を行い、約60人の方々に御参加いただきました。厚く御礼申し上げます。



関門地域共同研究会 成果報告会

本研究所と下関市立大学附属地域共創センターが共同で設立した「関門地域共同研究会」は、1994年度から関門地域に関する様々な調査研究に取り組んでいます。2015年度に行った空港、観光、自治体間連携に係る5つの研究報告と有識者を招いたミニシンポジウム（テーマ：地方創生と関門観光インバウンドの可能性）を、2016年5月16日（月）午後1時に海峽メッセ下関において開催し、約100人の方々に御参加いただきました。厚く御礼申し上げます。



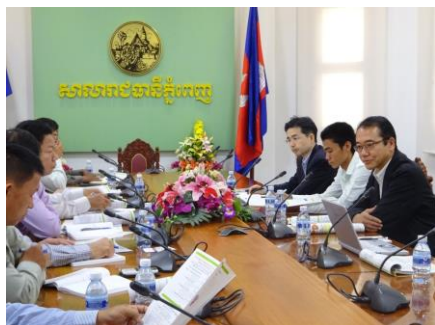
COC+事業「まなびとJOBステーション」がグランドオープン！

「地(知)の拠点大学による地方創生推進事業（COC+事業）」の一環として、JR小倉駅ビル・アミュプラザ西館8階に事業展開スペース「まなびとJOBステーション」が本格的に稼働を始めました。5月13日（金）にオープニング・セレモニーを開催しました。

→ 詳細は p.4 ご参照



写真で見る、地域戦略研究所および所属教員の最近の主な活動記録（2016年4月～6月）



- | ① | ② | ③ |
|--|------------------------------------|-------------------------------|
| ①：姉妹都市「カンボジア・ブンベン」との交流可能性調査 [吉村教授・宮下准教授] | ②：『「平成大合併」の政治経済学』（勁草書房）を刊行 [宮下准教授] | ③：前年度の2つの研究成果が新聞、ラジオで報道 [南教授] |
| ※①～③の写真の解説は p.2 をご参照ください。 | | |

地域戦略研究所および所属教員の最近の主な活動記録

【2016年4月～6月】

姉妹都市「カンボジア・プノンペン」との交流可能性調査 [吉村英俊教授・宮下量久准教授]

本年3月に姉妹都市になったカンボジア・プノンペンの経済発展を支援するため、現地の実状を調査してきました(今回3回目)。現在、カンボジアの産業は縫製業を中心とした労働集約型産業に依存しています。そのため、産業の多様化と高付加価値化を図らねばならず、われわれは北九州市と協働で、その基盤ともいべき「裾野産業の育成」について調査及び検討を進めています。具体的には「職業訓練大学をつうじた産業人材の育成」と「地場企業の技術及び経営指導」を行うこととし、提案書を作成して関係者と協議を行っています。なお、このプロジェクトを進めるにあたっては、ベトナム・ハイフォンで培った経験・ノウハウが大いに役立っています。

『「平成の大合併」の政治経済学』(勁草書房)を刊行 [宮下量久准教授]

本書は、「意思決定」、「合意形成」、「財政規律」という3つのキーワードを基にして、約10年に及ぶ研究成果をまとめています。この3つのキーワードに注目した理由は、市町村合併の経済学的側面として強調されてきた費用削減効果の検証に対して、その意思決定や合意形成の要因・過程に関する研究が少ないと考えたからです。実際、合併後の自治体では費用効率化を十分に実現できていないため、「なぜ自治体は合併したのか」「合併協議はどのように進んだのか」といった疑問を検証する必要性がありました。なお本書の表紙には、関門橋が描かれています。市町村合併の意義や新たな自治体間連携を考える材料にさせていただけますと幸いです。

前年度の2つの研究成果が新聞、ラジオで報道 [南博教授]

2015年度に取り組んだ調査研究の成果のうち、本研究所紀要に収録された論文「北九州市民の防災・災害情報に対する意識の現状分析」について、FMラジオ局“クロスFM”の番組『CROSS i』(5/22放送)、および西日本新聞の防災連載記事(6/22付け北九州面)において紹介されました。また、本研究所の地域課題研究の一環として実施した「2016年シーズン開幕直後のギラヴァンツ北九州に対する市民意識」について、コミュニティFMラジオ局“FM KITAQ”の番組『サンデーアベニュー』(5/8放送)、毎日新聞の記事(5/17北九州面)、西日本新聞の記事(6/8北九州面)において紹介されました。今後も地域のニーズに応える調査研究に取り組んでまいります。

その他の主な活動記録 ※各項目ごとに担当教員等(□表記)の五十音順に列挙

■地域課題に関する研究、共同研究、受託研究での調査等(抜粋)

- 九州と台湾における地方創生に関する国際共同研究会(4/22・国立嘉義大学) [内田]
- 北九州市立大学図書館での『地域戦略研究所「ギラヴァンツ北九州アーカイブ」企画展』に係る諸調整(北九州市、ギラヴァンツ北九州、塩尻市立図書館等)(5～6月) [南]
- 「消費増税と北九州市財政等に関する市民意識調査結果」(『地域研 Quick 調査』)の公開(6/17) [宮下]
- ベトナム・ハイフォン出張：CO2削減プロジェクトに関する協議(4/26～30) [吉村]
- カンボジア・プノンペン出張：経済産業分野に関する都市間連携の可能性調査(5/29～6/2) [吉村、宮下]

■講演等

- 第10回まちづくり情報カフェ(5/13・大分市) [内田]
- ESD推進いきいきシニア塾(5/23・北九州市立筒井市民センター) [内田]
- みやこ町国道201号バイパス建設促進期成会(5/8・みやこ町) [内田]

■国・地方自治体・経済界等の各種審議会・委員会(主なものを抜粋)

- 九州経済産業局 中小企業・小規模事業者人材対策事業審査委員会(委員長) [柳井]
- 北九州市都市計画審議会(会長) [柳井]
- 福岡県行政改革審議会 [南]
- 日田市公共施設等総合管理計画策定検討委員会(委員長) [南]
- 北九州市高齢者いきがい活動支援事業委託事業者審査会(会長) [宮下]
- 北九州市生きいき長寿推進協会高齢者地域活動助成事業審査会 [宮下]
- 北九州ベンチャーイノベーションクラブ企画運営委員会 [吉村]



カンボジアの職業訓練大学の視察調査

(続き)

■報道

- FM KITAQ、2016年4月26日、「コラボタウンネットワーク」[小林]
- 毎日新聞、2016年4月1日、筑豊面「田川市 協働まちづくり条例素案を答申 検討会議」[南]
- FM KITAQ、2016年5月8日、「サンデーアベニュー」[南]
- 毎日新聞、2016年5月17日、北九州面「輝け！ギラヴァンツ 「わが町のチーム」目指そう 市民意識調査、愛着感じる4割超」[南]
- クロス FM、2016年5月22日、『CROSS i』「熊本地震に関する事や北九州の災害リスクと必要な心構え」[南]
- 西日本新聞、2016年6月8日、北九州面「ギラヴァンツ応援 33.4% 北九大の南教授 市民意識調査」[南]
- 西日本新聞、2016年6月22日、北九州面「災害への備え 非常食 いかに配るかも課題」[南]
- 西日本新聞、2016年4月12日、北九州面『「企業と一体の街」議論 副都心黒崎開発推進会議」[宮下]

■その他

- COC+事業「北九州・下関まなびとぴあ」Web サイト本格稼働
[COC+担当] <https://manabitopia.jp/>

★当 Web サイトにおいて、本学が代表校として採択された「地(知)の拠点大学による地方創生推進事業 (COC+事業)」関連の様々な情報発信を行っております。ぜひアクセスをお願いいたします。

★Facebook での情報受発信も行っています。

<https://www.facebook.com/manabito.job/>



トピックス

【告知】 本学の北方キャンパス図書館新館ギャラリーにおいて『地域戦略研究所「ギラヴァンツ北九州アーカイブ」企画展』を7～8月に開催

- 主 催： 北九州市立大学地域戦略研究所
- 特別協力： 塩尻市立図書館（長野県）※7月16日に北九州市立本城陸上競技場で開催のギラヴァンツ北九州 vs 松本山雅のタイアップ企画
- 協 力： ギラヴァンツ北九州を支援する市民会議、(株)ギラヴァンツ北九州
- 期 間： 2016年7月9日（土）～8月5日（金）（ギャラリー開館：月～土 9:15～17:00、日祝 10:00～17:00）
- 会 場： 北方キャンパス図書館新館 1階 図書館ギャラリー （入館無料）

地域戦略研究所では、2014年3月に「ギラヴァンツ北九州アーカイブ」を研究所資料室内に開設し、地元Jリーグクラブのギラヴァンツ北九州の関連書籍や様々な資料、また2017年3月オープン予定の北九州スタジアム関連資料を収蔵しています。その収蔵資料の一部を、本年4月に北方キャンパスにオープンした図書館新館ギャラリーにおいて1ヶ月間展示し、市民の皆様や大学関係者が気軽に閲覧できる企画展を開催します。会場ではギラヴァンツ関連の各種資料やユニフォーム等の展示の他、ギラヴァンツ北九州サポーターズガイド等の無料配布を行います。是非ご来場ください。

また、7月16日（土）に北九州市立本城陸上競技場で開催されるギラヴァンツ北九州 vs 松本山雅 FC と連動した特別企画として、長野県塩尻市立図書館（松本山雅 FC コーナーを館内に設置。）様との交換展示（7月17日まで）を行います。本学図書館で松本山雅 FC のユニフォームや各種資料を展示して試合を盛り上げると共に、信州観光パンフレット等を無料配布しますので、夏の信州旅行に是非お役立てください。

塩尻市立図書館においては、本研究所からお送りしたギラヴァンツ北九州のユニフォーム等の展示、また北九州観光パンフレット類、北九州スタジアム告知チラシ、FDA名古屋小牧空港～北九州空港利用促進チラシ等の配布を行っていただき、松本山雅サポーターの北九州来訪と、北九州観光の促進に御協力いただきます。同館においては、7月1日から企画展示を実施中です。

今回の取り組みが北九州市民のギラヴァンツ北九州応援機運の醸成と、北九州地域におけるスポーツツーリズム促進につながることを期待しております。本研究所では、今後もスポーツツーリズム推進等に向けた実践活動に取り組んでいきます。



参考写真： 長野県の塩尻市立図書館におけるギラヴァンツ北九州企画展示（展示・配布物は本研究所から提供。7/1撮影）

COC+事業 「まなびとJOBステーション」がグランドオープン！

昨年9月に、本学が代表校として採択された「地(知)の拠点大学による地方創生推進事業(COC+事業)」では、北九州・下関地域を対象に、13の大学・高専、3つの自治体、3つの経済団体により「北九州・下関まなびとぴあ」を組織し、地域を志向する授業科目の開講、地域の企業や学生に対する意向調査、学生と企業との各種交流プログラム、産学官連携のインターンシップや合同企業ガイダンスなどの取り組みを通じ、参加校の学生の地域の企業等への就職や雇用の創出などを推進しています。

本事業の一環として、小倉駅ビル・アミュプラザ西館8階に事業展開スペース「まなびとJOBステーション」が5月13日(金)より本格的に稼働することとなり、同日、オープニング・セレモニーが開催されました。同式典には、COC+事業の産学官の事業協働機関関係者や金融機関をはじめとする企業の方々、報道関係者など約50名の方々が列席され、本事業の代表校である本学・近藤学長による挨拶、北九州市企画調整局の西田局長、北九州商工会議所の羽田野専務理事をはじめとする産学官の皆様によるテープカット、本事業コーディネーターの本研究所・田中特任准教授によるプレゼンテーションなどが行われました。

今後、まなびとJOBステーションでは、地域の学生と企業との豊かな関係性を構築していく場として、両者のface to face、リアルな出会いや学び、体験、対話を深めていくプログラムを推進していきます。学生による地元企業や働く人の取材と冊子の発行、地元企業と連携した課題解決型ワークショップ、地元企業関係者をゲストに招き学生と対話交流するプログラムなどを実施するほか、事業協働機関による本スペースでのセミナーや講座などのプログラムも予定されています。



「まなびとJOBステーション」について

- 開館日時： 水曜日～日曜日、13:00～19:00 ※休館日： 月、火 及び夏季・年末年始
- 場 所： JR小倉駅ビル・アミュプラザ小倉西館8階フロア（小倉北区浅野1-1-1）
- 電 話： 093-967-2520
- Facebook： <https://www.facebook.com/manabito.job/>
- Webサイト： <https://manabitopia.jp/>